

薩摩川内市教育委員会の教育方針

近年、少子高齢化、高度情報化、国際化が急速に進む中で、社会保障、環境問題、経済不安、社会における安全・安心の確保など様々な課題が生じています。

国においては、このような教育を取り巻く環境の変化を踏まえた上で、制定から約60年を経て、平成18年12月教育基本法が改正され、新しい時代の教育の基本理念が明示されました。

そして、その理念の実現に向け、国・県教育委員会においては、昨年度「教育振興基本計画」が策定され、今後10年間を通じて目指すべき教育の姿と、今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策等が示されたところです。

このような状況のなか、薩摩川内市教育委員会では、第1次薩摩川内市総合計画基本構想の施策基本方針のひとつである「地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり」を教育目標として、主体性・創造性・国際性を備え、ふるさとを愛する人間性豊かでたくましく生きる市民の育成をめざして、活力ある教育を推進します。

また、市民憲章を標榜し、「まちづくりの原点は人づくりである」という観点に立ち、学校・家庭・地域の協調により、市民一人一人が明るく豊かな人生を送ることができるよう“薩摩川内らしい教育”の推進に努めます。